

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市わーくす川崎	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県央福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労移行支援(定員6名) 月平均在籍者数 3.0名</li> <li>・就労継続支援B型(定員34名) 月平均在籍者数 38.7名</li> </ul>																										
収支実績	<table border="1"> <tr> <th>収入</th> <th>支出</th> <th>収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動 81,290千円</td> <td>福祉事業活動 68,989千円</td> <td>11,237千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 57,771千円</td> <td>人件費 47,026千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助 6,930千円</td> <td>事務費 7,275千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等 0千円</td> <td>事業費 11,856千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金 2,832千円</td> <td>拠点区分間繰入金 2,832千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 13,757千円</td> <td>施設整備等 1,064千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 81,290千円</td> <td>合計 70,053千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入	支出	収支差額	福祉事業活動 81,290千円	福祉事業活動 68,989千円	11,237千円	給付費 57,771千円	人件費 47,026千円		川崎市独自扶助 6,930千円	事務費 7,275千円		指定管理委託料等 0千円	事業費 11,856千円		拠点区分間繰入金 2,832千円	拠点区分間繰入金 2,832千円		その他 13,757千円	施設整備等 1,064千円		合計 81,290千円	合計 70,053千円			
収入	支出	収支差額																									
福祉事業活動 81,290千円	福祉事業活動 68,989千円	11,237千円																									
給付費 57,771千円	人件費 47,026千円																										
川崎市独自扶助 6,930千円	事務費 7,275千円																										
指定管理委託料等 0千円	事業費 11,856千円																										
拠点区分間繰入金 2,832千円	拠点区分間繰入金 2,832千円																										
その他 13,757千円	施設整備等 1,064千円																										
合計 81,290千円	合計 70,053千円																										
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者及び家族の個別ニーズを反映した個別支援計画を作成している。支援に当たっては、事前説明を確実にし、長所を生かせるようにし、面談や実習では利用者の潜在的に持っている力を引き出すことに努め、自信をつけ行動の安定に繋がる支援を行った。</li> <li>・就労継続支援B型においては、27年度に館内トイレ清掃の清掃受注を受けたが、28年度からは他の民間会社に委託していた事業所内の清掃も受注した。売上、工賃支給総額、平均工賃のいずれも開所以来最高値の金額になり、新規作業開拓、作業改善の取り組みが評価できる。</li> </ul>																										

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者主体を念頭に置いた上で、個々の障害特性を反映し、自己選択・自己決定を尊重した個別支援計画に基づいて支援を行っている。支援に当たっては、事前に家族から得た利用者の健康状態や生活の状況を基に、あらかじめ工夫し用意した絵や文字での作業カードや掲示物により分かりやすく行っている。</li> <li>・就労移行支援事業においては、利用者が社会人としての生活能力・態度について自己評価するチェックシートを設け、支援を行うとともに、ビジネスマナーの勉強会を開催して、定期的に面接の練習を行うなど、就職への意欲を高める支援を実施しているが、利用率は5割をやや下回っており、今年度は就労に結びついた利用者が出ていない状況である。</li> <li>・就労継続支援事業においては、作業能力・態度について16項目記載してある「評価表」を利用して各項目5段階で客観的に評価している。利用者や家族、職員で結果を共有化して、利用者のやる気向上を図っている。</li> </ul>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理がなされているか				
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支出については、ほぼ予算どおり安定感のある執行を行った。</li> <li>・収入については、利用者が当初の見込みを上回ったことによる給付費の増により、全体で見込を上回り、また、収支はプラスであった。</li> <li>・会計基準に基づいた適正な会計処理がなされている。</li> </ul>					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画は、利用者・家族をはじめ、必要に応じて区保健福祉センター・相談支援センター・更生相談所等も同席のうえ作成している。</li> <li>・就労継続支援事業においては、アドバイザーの助言を的確に受け入れ、作業動線、在庫管理などの改善を図り、作業の効率化及び利用者が自立して作業できる環境づくりに取り組んだ。清掃業務を受注するなど、利用者の工賃増に繋がり、職域も広がったことから、適性を確認するアセスメントの幅も広がった。</li> <li>・利用者・家族との信頼関係づくりを重視し、連絡帳や家族連絡会、今年度から開催した利用者の会、みんなの声BOX(意見箱)、写真付きが好評な「わーくす川崎通信」等を活用して意思疎通の回数と手段を確保した一方で、苦情処理において事実確認や対応の点で適切でない事例があった。</li> </ul>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・職員のスキルアップについては、法人の研修方針に基づき、法人外の研修も含めて積極的に参加できる環境を整えている。また、入職時には「入職前研修」を実施している。 ・年4回の防災訓練を実施。その内2回は法人合同、ふれあいプラザかわさき合同での訓練を実施した。訓練実施中に不安になり、体が固まて動けなくなる利用者がいたなど、災害時を意識した訓練ができています。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・各種保守点検、警備等については、適切に実施されている。 ・日常清掃は利用者自らが実施。定期清掃については業者委託により行われており、美観と清潔さが保たれている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準:・C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・事業開始3年目として、前年度までに構築した利用者・家族との信頼関係や業務の標準化等を土台として、本来の事業目的である個別支援を軸とした就労支援を実施し、安定的に事業執行していることは高く評価できる。  
 ・各区保健福祉センターをはじめ、相談支援センターや専門機関と連携し、適切な役割分担の下、利用者の生活全般を視野に入れたサービス体制の構築に努め、利用者・家族の安心につながっている。また、川崎区地域自立支援協議会に参加し、地域の福祉施設や当事者団体とのネットワークづくりに取り組んでいる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・27年度はふれあいプラザ内での交流、28年度は地域町内会の盆踊り大会での交流を実施している。来年度においては、わーくす川崎が主体になってできるイベントや専門知識を生かした研修会の開催など、地域貢献できる事業について検討すること。  
 ・利用者の特性に即したサービス提供の基盤が着実に整備されている。今後は第三者評価の改善点を踏まえ、利用者の求めるサービスを一層充実させていくことが望まれる。